

元気確認ウォーキング④湘南平ハイキング

日時：2020年9月14日（月） 天候：曇のち晴 歩数：1万2000歩 距離：8km

集合：①JR平塚駅西口「餃子の王将」前 8時15分 ②高来神社 9時

コース：平塚駅西口→高来神社→東天照（標高135m）→高麗山→八俣山（160m）→尾根道→
浅間神社・浅間山（181.3m）・一等三角点→湘南平（180m）→楊谷寺谷戸横穴墓→化粧坂
→高来神社

参加者：高橋文 小野里 河野（L） 山川 市村 阿部

9月14日、「元気確認ウォーキング」の4回目を行いました。今回、参加者は6人、山川さんが初参加でした。三密(密閉空間、密集場所、密接会話)を避けてのウォーキング、集合場所の高来神社には、自転車組の3人（高橋文、山川、阿部）、平塚駅からの徒歩組の3人（小野里、河野、市村）、6人が集合しました。

リーダーの河野さんの話ですと「湘南平に上るには、男坂、女坂、地獄沢コースなど沢山ある」とのこと、私は、もっぱら女坂コースで湘南台へ上り大磯の駅へ下りるコース専門、新たなコースに期待を膨らませての参加となりました。

写真は、湘南平の「日本山岳界の先駆者岡野金次郎」記念碑前での一枚です。



高来神社 一生懸命ストレッチ～安全祈願～コース説明～最初は女坂

徒歩組の3人は8時13分、平塚駅西口をスタート、住宅街を歩き国道1号線に出て花水橋を渡り8時50分に高来神社に着きました。阿部さんが来ました。伝助○になっていなかったのがビックリ、「最近はほとんどパソコンを開いていないのよ、前回ウォーキング後に決めた集合場所・時間で来ました」とニコニコ顔。参加者が多くなり楽しくなりました。河野さんの「グーンと手を上に伸ばして」の声で、みなさん一生懸命ストレッチ、でも中々河野さんのようには・・・、開運招福の幟が出ていますが、今日はハイキングの安全祈願をしました。「高麗山県民の森案内図」を見てコース説明、最初は右手の女坂コースです。



女坂～分岐を東天照方向へ～上り始めて10分で「相模湾」展望小広場

9時10分スタート、女坂を上ります。すぐに分岐、まっすぐ上れば女坂で高麗山へ、右の大磯町生涯学習館・東天照方面へ進みます。私はこちらを歩くのは初めてです。少し上るとまた分岐、右へ行くと生涯学習館、左の東天照方向へ上ります。

上りはじめて10分の9時20分、相模湾が展望できる小さな広場に出ました。先客の数人が展望を楽しんでいました。左手東の方向には平塚の市街地、遠くに江の島が見えます。真南は大磯の住宅街、東から西へJR東海道線の下り列車が走っていきました。相模湾の先は大島・伊豆諸島です。



展望小広場～急登～東天照（標高 135m）～巻道～八俵山（標高 160m）

「素晴らしい景色を見た」の満足感で、展望広場を後にしました。ここからは少し急登になりました。ピンクのシャツの高橋さんはじめみなさん元気に上がってきます。上りきったところで小休憩、いい汗かいています。ここが東天照と思って案内図を見ましたら、現在地の印があり東天照はもう少し先だと分かりました。

尾根道を少し行くと、見落とししてしまいそうな小さな説明板が立っていて「八俵山・大堂・東天照の高麗山の三峰のうち、最も東側に位置する峰で東の展望台の役目をはたしていた。標高135m」と書かれていました。そこから先、大堂には上らず巻道へ進みます。尾根道に出て標高160mの八俵山へ着きました。



浅間山～湘南平（標高 180m） 日本山岳界の先駆者岡野金次郎記念碑

浅間山から下って、上って行くとテレビ塔の下に出ます。10時30分、「神奈川の景勝50選」湘南平（標高180m）へ到着しました。日本山岳界の先駆者岡野金次郎記念碑の前で集合写真を撮りました。説明板によると「岡野は明治35年（1902年）、後に日本山岳会初代会長となる小島烏水（うすい）と、日本人登山家として初めて槍ヶ岳への登頂を果たしました。岡野らより前に槍ヶ岳に登ったウォルター・ウエストンと出会い、このことが日本山岳会の設立につながりました。晩年亡くなるまで平塚に住み続けました」と書かれていました。数十回湘南平に上って来ましたが、初めて記念碑のことに気がつきました。



湘南平～巻道～下り道～楊谷寺谷戸横穴群～高麗山公園を出てもう一山

10時52分下山開始です、湘南平の巻き道を歩き、楊谷寺谷戸横穴群方向へ下ります。「このコース初めてだわ」などの声が出る中の下り道、倒木をまたぎ下山していくと11時14分、横穴群が出てきました。説明板には「この横穴群は古墳時代のもので、山腹に4段にわたって穴が分布している。この横穴群を中心に、古代においてこの谷が墓場の谷になっていたことが分かる」と書かれていました。

高麗山公園を出て、ここから大磯の住宅街を歩いて高来神社へ向かうのかと思いきや、もう一山上りです。この道、リーダーの河野さん以外は初めてのようです。



もう一山のの上り道～地蔵菩薩～巨大な布袋さん像～風情のある旧東海道

「この一山プラスで、やや健でなく健脚コースだね」などと話しながらの上り道です。なぜか道端に地蔵菩薩、「頼主大長院福」と刻まれています。この近くにお寺があった名残でしょうか。さらに上ると、こちらは現代に作られたと思われる巨大な布袋さん像が突然現れ、にこやかな笑顔で出迎えてくれました。

下りに入り、アスファルト通りに出るとお喋りタイムのリラックスモード。河野リーダーが一番後ろを歩いています。山川さん終始マスク着用、凄いです。「どんな人が住んでいるの」と羨むような大きな家が何軒かありました。化粧坂を下りて旧東海道へ、風情のある街並みを東へ、高来神社へ向かいます。



旧東海道～12時13分高来神社へ 1万2000歩のランチ前ハイキング

旧東海道を歩き12時13分、高来神社へ戻ってきました。歩数1万2000歩のランチ前ハイキングでした。クールダウンをして次回の打ち合わせ、「吉野さんにコースを作ってもらおう」ということになり、河野さんが電話連絡をして了解を得ました。10月12日、予備日は10月14日で実施となりました。

自転車で帰宅する3人の記念写真をパチリ、徒歩組を「お疲れさま、お先に～」と追い抜いて行きました。徒歩組は、家までは2万歩超えになりそうです。

アフターなしの「元気確認ウォーキング」、午後は買い物に家事か、それともシャワーを浴びてビールか、ゆったりコーヒータイムか・・・



高麗山は、安藤広重の東海道五十三次の絵には東海道を覆うように描かれています。大磯宿と平塚宿の距離は20町（約2km）で客の取り合いが激しかった。日没になると大磯宿の姐さんは、道に出て江戸へ向かう旅人に「平塚宿はあの山の向こうですよ、今夜は大磯で足をのばしてください」と、高麗山を眺めさせました。平塚宿でも同じように京へ向かう旅人に草鞋を脱がせました。次の朝、大磯に泊まった旅人と、平塚に泊まった旅人が、高麗山の下を通過して街道に立ち止り、山を見上げ「騙された」とつぶやいたとのこと。それから誰言うとなく「高麗山はペテン山」と呼ばれるようになりましたとさ。

(いちむら記)